

事業活動実績報告書

施設名	東江幼稚園		
教育理念	「人と関わる力」「しなやかに動かせるからだ」「自然から学ぶ体験」を育てる		

事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 表現		
1 事業名	からだところを育てるオイリュトミーの時間		
2 実施期間	令和 6年 4月 24日 ～ 令和 7年 2月 5日		

3 取組概要

(取組日) 令和 6年 4月 24日 ～ 令和 年 月 日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

30分ずつ交代で4クラスがオイリュトミーをおこなった。
①さくら組(年長児・年中児)②いなほ組(年長児・年中児)
③やま組(年長児・年中児)④そら組(年長児・年中児)
プログラム: 輪になって、季節や自然をテーマにした活動を行う。手遊び、わらべ歌などの後に詩や短い物語「カエルの王様」を聞きながら、それに合わせたオイリュトミスの動き(ポーズやしぐさ)を模倣する。



(取組日) 令和 6年 5月22日 ～ 令和 年 月 日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

30分ずつ交代で4クラスがオイリュトミーをおこなった。
(年長児・年中児)①さくら組②いなほ組③やま組④そら組
プログラム:
輪になって、季節や自然をテーマにした活動を行う。手遊び、わらべ歌などの後に詩や短い物語「カエルの王様」を聞きながら、それに合わせたオイリュトミスの動きを模倣する。



(取組日) 令和6年 6月 12日 ～ 令和 年 月 日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

30分ずつ交代で4クラスがオイリュトミーをおこなった。
(年長児・年中児)①さくら組②いなほ組③やま組④そら組
プログラム:
輪になって、季節や自然をテーマにした活動を行う。手遊び、わらべ歌、お手玉遊びなどの後に詩や短い物語「カエルの王様」を聞きながら、それに合わせたオイリュトミスの動きを模倣する。



(取組日) 令和6年 6月 12日 ～ 令和 年 月 日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

14:30-16:30 職員研修としてオイリュトミーを学ぶ。
①講義: オイリュトミーとは、歴史、音とその働きや意味。
②実技: 基本の動作・歩く・Iの音のポーズ・Aの音のポーズ・Oの音のポーズ
③実技・講義: 幼児オイリュトミーで実際に子どもたちにやっている動きとその意味



3 取組概要	(取組日) 令和6年 7月 10日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 30分ずつ交代で4クラスがオイリュトミーをおこなった。 (年長児・年中児)①さくら組②いなほ組③やま組④そら組 プログラム: 輪になって、季節や自然をテーマにした活動を行う。手遊び、わらべ歌、お手玉などの後に詩や短い物語「がたがたの竹馬小僧」を聞きながら、それに合わせたオイリュトミスの動きを模倣する。 
	(取組日) 令和6年 10月 2日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 30分ずつ交代で4クラスがオイリュトミーをおこなった。 (年長児・年中児)①さくら組②いなほ組③やま組④そら組 プログラム: 輪になって、季節や自然をテーマにした活動を行う。手遊び、わらべ歌などの後に詩や短い物語「がたがたの竹馬小僧」を聞きながら、それに合わせたオイリュトミスの動きを模倣する。 
	(取組日) 令和6年 10月 23日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 30分ずつ交代で4クラスがオイリュトミーをおこなった。 (年長児・年中児)①さくら組②いなほ組③やま組④そら組 プログラム: 輪になって、季節や自然をテーマにした活動を行う。手遊び、わらべ歌などの後に詩や短い物語「がたがたの竹馬小僧」を聞きながら、それに合わせたオイリュトミスの動きを模倣する。 
	(取組日) 令和6年 11月 13日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 30分ずつ交代で4クラスがオイリュトミーをおこなった。 (年長児・年中児)①さくら組②いなほ組③やま組④そら組 プログラム: 輪になって、季節や自然をテーマにした活動を行う。手遊び、わらべ歌などの後に詩や短い物語「星の銀貨」を聞きながら、それに合わせたオイリュトミスの動きを模倣する。 
	(取組日) 令和 6年 12月 11日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 30分ずつ交代で4クラスがオイリュトミーをおこなった。 (年長児・年中児)①さくら組②いなほ組③やま組④そら組 プログラム: 輪になって、季節や自然をテーマにした活動を行う。手遊び、わらべ歌などの後に詩や短い物語「星の銀貨」を聞きながら、それに合わせたオイリュトミスの動きを模倣する。 
	(取組日) 令和 7年 2月 5日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 30分ずつ交代で4クラスがオイリュトミーをおこなった。 (年長児・年中児)①さくら組②いなほ組③やま組④そら組 プログラム: 輪になって、季節や自然をテーマにした活動を行う。手遊び、わらべ歌などの後に年長児一人一人の名前を呼び、その音にあった動きをオイリュトミストが披露しそれを園児全員で模倣する。 

効果検証報告書

施設名	東江幼稚園
教育理念	「人と関わる力」「しなやかに動かせるからだ」「自然から学ぶ体験」を育てる

事業の区分(5領域)		健康・人間関係・環境・言葉・表現
計画時	1 事業名	からだところを育てるオイリュトミーの時間
	2 事業概要	シュタイナー教育に基づく「オイリュトミー」をおこない、からだの分野の成長に働きかける
	3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 園のホールにおいて月1回程度 1クラス毎の「オイリュトミー」の時間をもうける。ドイツ留学をして、専門の資格をもったオイリュトミストが講師として子どもたちに指導する。
	事業後 3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 オイリュトミーの実施により、子どもたちの身体的表現力や感受性が向上し、自己表現や協調性が養われました。特に、集中力やリズム感が改善され、一人一人の成長につながりました。子どもたちが自分の感情を体で表現する力が高まり、情緒面でも安定が見られました。また、個々の子どもの課題も見つかりました。しかし、一部の子どものために難易度が高く感じられることがあり、個別対応の強化が課題として残りました
	4 事業のねらい	シュタイナー教育に基づく「オイリュトミー」をおこない、からだ育ての分野に働きかける。体を自由に動かせるだけでなく、感覚を磨いて感性を深めるような活動を行う。講師の動きを模倣する身体の動きと共に、詩やわらべ歌や童話を聞き、その物語を体験したかのように味わう、心が動く活動をする。
事業後	事業後 4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 この事業は、シュタイナー教育の「オイリュトミー」を通じて、身体だけでなく感性や心の動きにも影響を与えることを目的とした。詩やわらべ歌、童話を用いた体験活動により、子どもたちは感覚を磨き、身体の動きを通じて物語の世界に没入することができた。事業実績から、子どもたちの集中力向上や想像力の発達が期待できると考えられる。
	5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 月に1回 各クラス20名程度が30分 シュタイナー教育の本場ドイツで学んできた講師「オイリュトミスト」から担任教諭とともに指導を受ける。 講師が歌や詩(ことば)を口にしながら、身体で表現(踊る)ので、それを子どもたちが見聞きしながら、模倣して身体を動かす。 園児に直接指導するだけでなく、教員にも年一回指導をしてもらうようにする。そのことにより、職員を通して園児にオイリュトミー的考え方、体の動かし方を学ぶ機会になる。
事業後	事業後 5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 この事業は、ドイツで学んだ「オイリュトミスト」が月1回、園児と担任教諭に指導することで、子どもたちは詩や歌を身体で表現する力を養った。また、年1回教員にも指導することで、オイリュトミー的な考え方や身体の動かし方を園全体に浸透させる効果があった。事業実績から、子どもたちの集中力や模倣能力の向上が確認された。今後は指導頻度を増やすことで、より深い理解と持続的な効果が期待できる。

6 環境構成	幼稚園ホールに於いて、ほどよく暗く落ち着いた照明の下で、20人程度の園児が担任教諭と共に、オイリュトミストから指導を受ける。
--------	--

6についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 落ち着いた照明の下で活動することで、園児は集中しやすく、感覚や感性をより深く養うことができる。 静かな環境が模倣や身体表現への没入感を高め、詩や歌の意味を感じ取る力が育つ。
-------------	---

7 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 身体と心の育ちが期待される。 オイリュトミーとは「調和したリズム」という意味で言葉や音楽の響きを形として表現する「目に見えるうた」であり、「目に見える言葉」とも言われています。言葉を楽しみ音のリズムを動く。運動芸術です。 オイリュトミーを通して体と心が健やかに成長する事を期待している活動である。
-------------------	--

7についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 言葉や音楽のリズムを身体で表現することで、子どもたちの想像力や集中力が高まり、感性が豊かになる。 身体の動きと心の働きが調和し、自己表現の力や情緒の安定が促進される。 集団での活動を通して、協調性や社会性の発達にも良い影響が期待される。
-------------	---

8 効果検証 総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて このオイリュトミー事業は、子どもたちが詩や音楽のリズムを身体で表現することで、感性や想像力を育むことに大きな効果があった。模倣や身体表現を通して、集中力や自己表現力が向上し、心と体の調和した成長が促進された。また、教員への年1回の指導により、オイリュトミーの考え方が園全体に浸透し、継続的な教育効果が期待できる。 今後は、子ども一人ひとりの成長ペースに応じた指導をするために、集団だと学びきれない子どもへの個別での指導について検討が必要。そうすれば、さらに感性や表現力の幅を広げることとなる。
--------------	---